B37 土 2:30 PM

東マレーシア、サラワク各地で採集されたクロヤブカ属の蚊成虫の形態

*當間 孝子¹⁾、岡澤 孝雄²⁾、宮城 一郎¹⁾、比嘉 由紀子³⁾、Leh Charles⁴⁾ (¹⁾ 琉球大学 ²⁾ 金沢大学 ³⁾ 長崎大学 ⁴⁾ サラワク自然史博物館)

サラワク・クチン近辺で汚水が溜まった人工容器や落下したココナの実、竹筒に発生するクロヤブカ属 (*Armigeres*) の幼虫を採集した。同時に 10 個のプラスチック容器 (ovi-trap: 直径 12 cm、深さ 10cm、) に汚水 (粉にしたビスケット数枚) を入れ、マタン国立公園内の森林内に放置した。10 日後に容器を回収した。採集された幼虫は博物館の飼育室で個別飼育し、約 300 個体の一連 (幼虫・蛹脱殻、成虫) の標本を作成し、一部はアルコールに漬けて保存した。標本は雄の生殖器の形態により 12 種 (1 種未同定) に同定された。内 *Armigeres setifer* Delfinado は基産地 (フィリピン) 以外では初めての記録である。各種の形態的特徴について述べる。

B38 土 2:40 PM

東マレーシア、サラワクでココナツ殻に生息する蚊

*岡澤 孝雄¹⁾、當間 孝子¹⁾、宮城 一郎²⁾、比嘉 由紀子³⁾、レー チャールス⁴⁾ (¹⁾ 金沢大学 ²⁾ 琉球大学 ³⁾ 長崎大学 ⁴⁾ サラワク自然史博物館)

2005 年 9 月にマレーシアのサラワク州、クチン郊外にあるサマラハンのココナツ農園でココナツの実に発生する蚊の調査を行った。農園はクチンの周辺に広がるデルタ地帯にあり、海岸線からは直線距離で 15km 離れている。穴が開き水が溜まったココナツの殻 17 個と半分に割った殻 5 個から溜まった水を全部採取し、実験室に持ち帰り、幼虫と蛹を取り出し、令別に個体数を数え、蛹から羽化した成虫の種を同定した。その結果、*Armigeres* 属 3 種類 (*Ar. Setifer*、*Ar. moltoni*、*Ar. malayi*)、*Aedes albopictus*、*Tripteroides* sp.、*Toxorynchites* sp. 及び *Culex* sp. の 7 種類が採集された。*Armigeres* 属の 3 種は穴が開いてからあまり時間がたらず、有機物を多く含む水 (色は白、赤茶、茶、黒褐色で不透明) が溜まったココナツ殻から主に採集された。*Armigeres* 属は 2 種または 3 種が 1 カ所に混棲している場合が多く、1 種だけが見られたのは *Armigeres* 幼虫が陽性のココナツ殻 14 個中 3 個であった。*Armigeres* 以外の 4 種類の蚊は、穴が開いてから時間がたち、有機物をあまり含まない透明な水が溜まったココナツ殻から採集された。*Armigeres* 属の幼虫密度は一番低いもので 0.6 匹/ml、一番高いもので 19.8 匹/ml であった。特に幼虫密度が高かったココナツ殻では水が茶色から暗褐色でどろどろしていた。